

『甲賀市史』 第一巻

「古代の甲賀」12月刊行

◎いよいよ刊行

新市発足から本格的に進めてきた市史編さんも、いよいよ第1巻を12月20日(木)から頒布開始することになりました。

最新の研究成果を取り入れつつ、大判で多数の図版を配した体裁で、甲賀市の豊かな歴史文化を改めて感じることができるといえます。

◎その内容は

全8巻のトップを切る1巻では、甲賀市の自然や地理を概観したあと、まず第1章では、甲賀の大地をつくっている地質を見ます。鈴鹿の山々や信楽山地に見られる固い岩の形成、暖かい浅い海に生息した海の貝の化石、ゾウの足跡化石で知られる古琵琶湖の時代などが紹介されます。

続いて縄文・弥生・古墳の各時代の様子が、市域を越えた広い視野で丹念に描かれます。とくに古墳時代、水口盆地に始まった大開発を推進したのがどのような人々だったのか想像が広がります。

つづく第2章では、日本史のなかにいよいよ甲賀が姿を現します。百濟から石仏を持ち帰った人物として『日本書紀』にも名前が見える鹿深臣の動向や、天下

分け目の戦いとなった壬申の乱との関わり、東大寺や石山寺に用材を供給した柚や川津について説かれます。

第3章では、短期間とはいえ、甲賀に日本の首都が置かれた紫香樂宮の時代を、古代史や考古学、仏教史などさまざまな立場から解説します。なぜ聖武天皇が信楽に宮を置き、大仏の造立を思い立ったのか。興味の尽きない章となっています。

最後の第4章では、都が奈良から京都にうつった平安時代の甲賀を紹介し、市域を横断した東海道の変遷にスポットが当てられ、斎王群行はもちろん、旅人を悩ました鈴鹿の山賊、そして山賊退治で有名な坂上田村麻呂の伝承が甲賀に定着した背景を探ります。また市内各地に伝えられる豊かな仏教美術を紹介し、その歴史的背景を探ります。

◎割引予約は

市史は1冊3,500円で販売しますが、現在次のとおり割引予約を受付中です。全8巻購入予約の場合は1冊3,200円、第1巻のみ予約の場合は1冊3,400円、代金は各巻発刊時のお支払いとなります。

◎一般頒布は

12月20日(木)から次の場所で購入いただけます。(ただし執務・開館時間内)

- 市史編さん室 (甲南庁舎3階)
- 水口歴史民俗資料館 (水口町水口)
- 土山歴史民俗資料館 (土山町北土山)
- かふか生涯学習館 (甲賀町大原中)
- 信楽中央公民館 (信楽町長野)

◎今後の刊行は

今後の刊行予定は次のとおりです。

| | |
|-----------|-------|
| 第2巻中世 | 平成24年 |
| 第3巻近世 | 平成26年 |
| 第4巻近現代 | 平成27年 |
| 第5巻美術・考古 | 平成25年 |
| 第6巻建造物・民俗 | 平成21年 |
| 第7巻甲賀の城 | 平成22年 |
| 第8巻年表・便覧 | 平成27年 |

◎刊行記念講演会

第1巻の刊行を記念して記念講演会を開催します。

■日時：12月16日(日)

午後1時30分～4時

■場所：忍の里プラザホール

(甲南町竜法師)

■講演：木村至宏氏 (編集委員長)

「甲賀市史の刊行にあたって」

井上満郎氏 (京都産業大学教授)

「古代の甲賀をさぐる」

瀧浪貞子氏 (京都女子大学教授)

「聖武天皇の夢と紫香樂宮」

参加は無料。市史の予約・購入の有無にかかわらず聴講できます。また会場では第1巻の販売も行います。

予約・問い合わせ

歴史文化財課 市史編さん室

TEL 86-8075

FAX 86-8216

